

河北町立北谷地小学校

学校運営協議会だより

令和5年6月30日(金)



令和5年度 学校運営協議会委員

No.	氏 名	備 考		氏 名	備 考
1	砂田 哲	青少年育成町民会議会長	6	八矢 悠輔	P T A会長
2	升川 光昭	主任児童委員	7	安孫子孝司	校 長
3	中野 劦	町区長会北谷地支部長	8	高橋 朋昭	教 頭
4	管 寿恵	北谷地地区公民館長	9	軽部 一敏	教務主任
5	奥山 巖夫	老人クラブ会長	10	宮地 裕子	地域コーディネーター

130年の伝統を引き継ぎ、あらたな一步を踏み出す

6月8日(木)に、第1回学校運営協議会が開催されました。はじめに、授業通覧をしていただき子どもの様子や教師と子どもの様子などを見てもらいました。その後、学校経営についての説明や「今後の学校づくり」について熟議しました。



昨年度の意見交換をもとにした学校経営

- ・谷地西部小学校との交流
- ・学校間の連携(町全体での授業研究への参加体制)
- ・持続可能な地域との連携へ緩やかに移行(本物体験・原体験の充実を図った教育活動)
- ・複式学級を見据えた校内体制と環境整備(PTA活動、校内研究など)

授業参観の感想

- ・教育目標に沿った子どもの姿が見られ感心した。
- ・あいさつが元気で、面倒見がよい。学校が丁寧に指導してくれていることに感謝している。
- ・不登校の児童に改善傾向がみられて素晴らしい。あまり急がずゆっくりと。
- ・みんなが積極的に学習に参加し、少人数のよさがでている。

熟議「今後の学校づくり」について

- ・複式学級について学級編成が心配である。河北町立小学校の在り方検討会を行っている。
- ・少人数を生かした本物に触れる体験活動を大切にしてほしい。
- ・地区単独の子ども会等で活動を行うことが難しくなっている。
- ・北谷地地区として伝統的に残していくことを整理して地域でやっていく必要がある。
- ・地域学校協働活動により子どもの元気だけでなく、地域も元気になっていくことが地域力の向上につながっていく。
- ・子どもが「北谷地地区が好きだ」と言えるような取り組みを大切にほしい。

たくさんのご意見ありがとうございました。